



## 東京芸術祭2021参加作品 NODA・MAP番外公演「THE BEE」

演出：野田秀樹 原作：筒井康隆～「蜚りあい」(新潮社)より～  
英語脚本：野田秀樹&コリン・ティーバン 日本語脚本：野田秀樹

THE BEE

演出 野田秀樹 インタビュー

# 登場人物も時間もコンパクトでも小品ではない「THE BEE」

2006年以来、上演の度に多くの観客に衝撃を与えてきた「THE BEE」がまた更新される。野田秀樹も「最強」と言うキャストで目指す普遍とは――。

―― 毎公演、キャストが発表される度に大きな話題が集まるNODA・MAPですが、今回の「THE BEE」もすごい顔ぶれですね。

野田 なかなか最強の布陣ですよ。

―― キャスティングは、ひとり芯を決めてからバランスを考えられたのか、それともシンプルな直感でしょうか。

野田 シンプルな直感です。ただ、長年の鍛え上げた直感なので(思いつきではない)。井戸という私も演じた役は、一定以上のテンションを出せて、なおかつそれがコントロールできる俳優でないと無理なんです。その意味で(阿部)サダヲは間違いない。彼は2012年の再演の時、地方まで観に来てくれたんですが、そこで「俺が体力的にやれなくなったらサダヲがやれるね、頼むよ」と言ったんです。

―― 阿部さんは愛嬌と狂気がシームレスに共存していると思うので「まさに！」と思いました。長澤まさみさんはNODA・MAP初参加です。

野田 相当ですけど、「世界の中心で、愛をさけぶ」を観て、真ん中のふたり(長澤、森山未來)がすごく良いなと思い、その時からずっと気になる存在として頭の中にいたんです。ワークショップに参加してもらったら、やっぱり良いんですね。普段と全然違うところを恐れずに出してくる。「THE BEE」の小古呂の妻も、被害者として狂気まで行かないといけないんです。彼女なら大丈夫だと思います。

―― 川平慈英さんは「フェイスピア」からの連投です。

野田 子供の役が行けるかなと勝手にイメージしていたんですけど、実は(奔放ではなく)ものすごく真面目。「フェイスピア」でお互いにコミュニケーションが取れたと思うので、大変な役だけれど任せよう。

―― 河内大和さんは「MIWA」「エッグ」「Q」: A Night At The Kabuki などNODA・MAPのアンサンブルで活躍されてきました。

野田 彼は、観に来た人からよく「あの人がいいね、誰？」と聞かれて、私も前からままとった役をいつか一緒と思っていたんです。何と言っても身体性が強いから、この芝居はもってこいです。

―― 演出家としては安心な顔ぶれが揃ったと。

野田 いや、最強の布陣ですけどこの作品は安心できません。最初から最後まで全員が一瞬たりとも集中力を切らしちゃいけないから。この4人なのであるところまでは行けると思うけれど、その先があるでしょうし。

―― 翻って、「THE BEE」は野田さんにとってどんな作品ですか？

野田 いろんな言い方ができますが……。よくプロフィールに勝手に代表作を書かれるんですが、「THE BEE」は代表作と書かれてもいい(笑)。登場人物も時間も比較的コンパクトですけど、自分の中では小品ではない。これだけワーク



Noda Hideki

ショップに時間をかけたものはないし、初演が英語でロンドンというちょっと特殊な経緯で生まれた作品なので、その想いも強いです。

―― 今回、NODA・MAP公演では初めて演出に専念されますが。

野田 この作品は作品だけで強いと言うのかな。例えば「赤鬼」は、歴史的な違いから、アジアではウケるけど西洋の人は理解しにくい。「THE BEE」は、個人と個人の報復から始まる話だから、どこに行っても普遍的な物語として受け取ってもらえます。自分が出ないのも、そのほうが普遍性が強まるからというのがあります。暴力の連鎖という2006年が初演の話が全く古びていないのは、この世の不幸でもあります。

―― 演劇を始めとする芸術文化には、つらいことを忘れるためと覚えておくための両方の機能があると思いますが、「THE BEE」はそれが良い形で昇華して普遍性を獲得したのかと今のお話から感じました。

野田 「THE BEE」は、ロンドンの多くの観客が「disturb」という言葉を使って感想を伝えてくれたんですが、日本語だと「(胸の奥が)ざわざわする」というのかな。それだと思っんです。いかなる時でもいかなる場所でも人にそう感じさせる。なぜかと言えば、実はみんな持っている闇だから。それが上手く形に出来た作品です。

取材・文：徳永京子(演劇ジャーナリスト)



11月1日(月)～12月12日(日) シアターイースト 詳細はP10,P12へ

演出：野田秀樹 原作：筒井康隆～「蜚りあい」(新潮社)より～ 英語脚本：野田秀樹&コリン・ティーバン 日本語脚本：野田秀樹

出演：阿部サダヲ…井戸  
長澤まさみ…小古呂の妻/リポーター  
河内大和…百山警部/シェフ/リポーター  
川平慈英…安直/小古呂/小古呂の息子/リポーター

東京公演10月24日チケット発売 大阪公演あり  
公演公式サイト：<https://www.nodamap.com/thebee/>

# THE BEE



阿部サダヲ



長澤まさみ



河内大和



川平慈英